



選挙を知ろう!



選挙について

選挙では、投票できる権利(「選挙権」といいます)を持つ人が投票して、国会議員や知事・市長などを選びます。

選挙は、私たちの暮らしや街や国の、『未来をどうしていきたいか』という思いを、代表者を選ぶことによって伝えることができる大切な機会となっています。



基本的な投票の仕方

投票前の準備

ココ大事

① 誰に投票するかを決める

(それぞれの候補者の政策などを比較して、候補者の中から最も当選してほしいと思う人を選びます)



候補者の政策は、
・インターネット
・演説
・選挙公報
・ピラ
・報道
などで、知ることができます。

投票所で行うこと

② 受付をして投票用紙をもらう

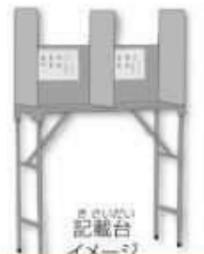
(受付には、投票できる人の名簿があります。名簿と照らし合わせて、投票しようとしている人が、本当に投票できる人なのかどうかを確認します)



投票用紙イメージ

③ 投票用紙に支持する候補者の氏名(※1)を書く

(※1 選挙によっては、政党名等を書くことがあります)



記載台イメージ

④ 投票箱に投票用紙を入れる



投票箱イメージ

選挙について 考えてみよう!



令和5年度 岐阜市明るい選挙啓発ポスターコンクール
市長賞作品 華陽小学校3年(当時) 天野 寧音 さん

岐阜市選挙管理委員会
岐阜市明るい選挙推進協議会

(協力: 岐阜県若者の選挙意識を高める会 ※岐阜大学教育学部生による若者啓発グループ)

【選挙前】

あなたは、岐阜市立信長小学校（全校児童600人）の児童です。
 信長小学校では、読書の習慣をつけるため、全員が図書館で本を借りるルールがあります。しかし、期限を過ぎても本を返さない人がいることが問題となっています。この問題を解決するための取り組みを、みんなが納得して行うために、取り組みの中心となるリーダーを、みんなで選ぶことにしました。
 4人がリーダーに立候補し、それぞれの意見は次の通りです。



本を返さない人がいるのは、返却期限を忘れている人がいるからだと思います。そこで、『期限までに本を返そうキャンペーン』を行い、キャンペーン期間中に、期限を全員が守れたクラスを表彰することにします。表彰を目指して、みんなで呼びかけ合うことができますので、期限を忘れないと思います。



本を返さない人の中には、みんなの本であるという気持ちが低い人が多いと思います。そこで、期限を守らなかった人には、『破れた本を修理するボランティア』や『本を整頓するボランティア』をしてもらおうと思います。本の管理の大変さがかかることで、期限を守るようになるのではないのでしょうか。



本を返さない人は、本に興味がない人がほとんどだと思います。それに興味がない人は、借りても読まずにほかっておくだけで、読書の習慣はつかないと思います。だから、私は全員が本を借りるルールをなくしてしまおうと思います。本を読みたい人だけが本を読めば、返却期限は守られると思います。



本を返さない人が多いのは、期限内に読み切れない人もいるからだだと思います。だから、返却期限を今よりも延ばすこととして、貸出延長も今より簡単にできるようにしたいと思います。みんなが自分のペースで本を読めるように本の貸し出しルールを見直していきたいと思います。

Q 1 この4名からリーダーを選ぶなら、誰の意見がよいと思いますか？それは何故ですか？

【あなたが選ぶリーダー】

【あなたが選んだ理由】



・自分と違う意見についてどう思ったのかな？
 ・他の人が投票した理由はなにか？
 ・私たちの行動によって信長小学校の未来は変わるかな？

【選挙後】

信長小学校での選挙の結果がでて、金華さんが当選しました。

金華さん
当選

長良さん
落選

伊吹さん
落選

井ノ口さん
落選

一生懸命頑張ります。みなさん協力をお願いします。

これからどうやってくれるのか、楽しみだなあ。

キャンペーン後

困ったなあ。みんなに協力してもらうのは難しいなあ。

少しでも本の返却期限を守る人が増えてよかったね。

金華さんの呼びかけで返却期限を守る人が増えたよ。ありがとう。

私は、長良さんの取り組みの方がよかったのに…

キャンペーン期間が終わったから、また返却期限を守らない人が増えてしまっているね。

Q 2 今回の選挙を通して、みんながより良い学校生活のために、考えたり投票したりしたことは、実際の選挙につながってきます。皆さんはどのようなことを大切にして、今後選挙と向き合っていきたいですか？

【大切なこと】

【メモ】